

JR 北海道の新型気動車「H100 形」

1. H100 形基本データ

製造年~2018年2月試作車落成

※この車両は試作車が落成された段階で、まだ本格的な運用は行なっていません。

最高時速~100km

走行路線~未定(各地のローカル線)

愛称~DECMO(Diesel Electric Car with Motors の略)

システム~電気式駆動システム

導入理由~老朽化したキハ40系などの国鉄型車両を置き換える目的で登場



↑H100 形 鉄道ファン(railf.jp/news/2018/04/07/080000.html)より引用



↑キハ40 マイナビニュース(www31.atwiki.jp/hurrg-annex/pages/1122.html)より引用

2.H100 形とキハ 40 系の比較

項目	H100形	キハ40形
外観	 イメージ	
定員	99人(座席36人)	103人(座席48人)※1
最高運転速度	100km/h	95km/h
車体	ステンレス鋼製	鋼鉄製
床面高さ	115cm	124cm
駆動システム	電気式(2軸駆動)	変速機式(1軸駆動)
エンジン馬力	450PS	330PS
バリアフリー設備	車いすスペース、車いす対応トイレ	なし
空調設備	冷房装置	なし
その他設備	ワンマン装置	ワンマン装置

※1 定員数は代表的な車両を表しており、これとは異なる定員の車両もあります。

JR 北海道の新型気動車 H100 形が電気式を採用した理由は何か？ | キハ 40 の老朽化に加え、キハ 283 系の推進軸落下事故の教訓か？(www.utali.io/entry/jrh-h100)より引用

3.車内の比較

(1)H100 形



(1) 鉄道ファン(railf.jp/news/2018/04/07/080000.html)より引用

(2)キハ 40 系



(2) 日本の旅・鉄道見聞録(www.uraken.net/rail/alltrain/kiha40a.html)より引用

(1)同じ点

ゴミ箱がある

2 ドア(写真からはわかりませんが…)

ドアに隣接しているシートがロングシート(写真からはわかりませんが…)

座席の配置(セミクロスシート)

(2)異なる点

	H100 形	キハ 40 系
シートのカラー(普通席)	エメラルドグリーン	青
シートのカラー(優先座席)	オレンジ	紫
優先座席上のつり革(色)	黄色	白
つり革(形)	三角	丸

4,H100 形 Q&A

Q. どうして電気式駆動システムなのですか？

A. 考えられる例として、2011年に起こった石狩線の特急列車の火災事故があります。事故を起こしたキハ283系のシステムは電気式駆動システムではなく液体式であり、その構造の特徴の一つである推進軸が異常な振動によって脱落したことによって脱線しました。これを防ぐために電気式駆動システムにしたのではないかと思います。

5,H100 形車内詳細



↑車椅子スペース



↑多目的トイレ

マイナビニュース (news.mynavi.jp/article/20180406-h100decmo/)よりそれぞれ引用

6,最後に

いかがだったでしょうか。今回は、キハ 40 系と H100 形を比較する形で書かせていただきました。H100 形に置き換わることで、北海道の旅も変わってくると思います。営業開始したら是非、H100 形に乗ってみてはいかがでしょうか。

7,参考文献

JR 北海道の新型気動車 H100 形が電気式を採用した理由は何か？ | キハ 40 の老朽化に加え、キハ 283 系の推進軸落下事故の教訓か？

www.utali.io/entry/jrh-h100

新型気動車の試作車(量産先行車)について

www.jrhokkaido.co.jp/press/2017/170712-2.pdf